

2013年秋季連続セミナー

# 「様々な働き方の拡がり」と 所得の再分配を考える」

主催 NPO法人あったかサポート

貧困と格差問題が取り上げられてはいますが、勤労者・市民による草の根フォーラムの場で年金など社会保障や税による所得の再分配機能について議論される機会はありません。

そこで①業務委託契約など様々な働き方が拡大し、社会保障から排除される若者の問題、②国民総背番号制度によって、低所得者からも取りっぱぐれない税の徴収システムが確立されようとしている税制上の様々な問題について議論します。

特に新自由主義の経済思想による1%の富者と99%の貧者という格差社会の到来に対して警鐘を鳴らすべく、社会保障と税による所得の再分配機能について議論する場を設けたいと思います。



第1回

「様々な働き方の拡大と社会保障に求められる課題」

日時 10月5日(土) 午後6時15分

～8時15分

講師 脇田 滋(龍谷大学法学部教授)

2000年代に入って、賃金デフレが進行し、生活保護水準にも満たない低賃金構造と他方における正社員の長時間労働やいじめ・嫌がらせなど企業社会の陰の部分がある社会的な課題となっています。そのような現状からこの国の社会保障制度の条件について考えます。



第2回

「税による所得の再分配機能を考える」

日時 10月25日(金) 午後6時15分～8

時15分

講師 木村 守(税理士)

「高所得者から税をたくさん徴収して、それを貧しい者に与えるべきだ」という議論は、「言うは容易いが、行うのは難しい」のが現状です。この国の高所得者と低所得者の分布や税負担の現状から日本人の税金に対する意識やこれからの税法について考えます。

第3回

「年金による所得の再分配機能を考える」

日時 11月8日(金) 午後6時15分～

8時15分

講師 高瀬高明(共同通信論説委員)

被用者年金一元化法が成立し、平成27年10月から施行され、公務員などの共済年金を厚生年金に統合することになったものの年金の記録管理、保険



料徴収、年金給付は従来のままです。さらに第1号・第3号被保険者など国民年金との一元化による非正規労働者の被用者年金への適用拡大など年金制度の課題はまだまだ残されたままです。

申込方法：当法人へ電話又はメール、FAXにてお申込み下さい。

会場：ひと・まち交流館



**FAX → 075-352-2646** (NPO法人あったかサポート)

2013年秋季連続セミナー

「様々な働き方の拡がり」と所得の再分配を考える」

## 参加申込書

以下の通りセミナー受講を申し込みます。

申込年月日

年

月

日

**受講料 各回 1,000円** (尚、寄付金年間5,000円以上の正会員は無料です。)

※ご希望の回にチェックをお願いします。

**第1回** 2013年 10月 5日 (土) 午後6:15~8:15

**第2回** 2013年 10月 25日 (金) 午後6:15~8:15

**第3回** 2013年 11月 8日 (金) 午後6:15~8:15

氏名			
住所	〒		
連絡先	電話(自宅)		FAX
	電話(携帯)		
	E-mail	@	

※ご提供いただいた個人情報は、セミナーのご案内、緊急連絡のみに利用させていただきます。